

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	001	健康づくりの支援				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 健康推進課
	基本施策	01	健康づくりの推進			
めざす姿	生活習慣病の予防、歯と口の健康づくりなど健康に関する正しい知識の普及が図られ、ライフステージに沿った適切な教育や支援を行うことにより、「自らの健康は自らがつくり守る」という認識が高まっています。また、心身に障害や健康上の課題を抱えていても生活の質が高く、いきいきと暮らしています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	89,299,000	63,062,000	63,378,000			
国庫支出金	0	110,000	0			
都支出金	2,974,000	3,066,000	2,842,000			
市債	0	0	0			
その他	5,345,000	7,238,000	7,057,000			
一般財源	80,980,000	52,648,000	53,479,000			
予算現額	89,299,000	63,535,000	0			
決算額	82,465,802	61,219,675	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,413,000	2,410,000	0			
市債	0	0	0			
その他	5,147,027	13,380,783	0			
一般財源	75,905,775	45,428,892	0			
執行率	92.3	96.4	0.0			
(人件費)						
職員数	11.46	11.90	0.00			
職員人件費	88,033,850	93,511,319	0			
嘱託員数	0.50	0.50	0.00			
嘱託員人件費	1,560,200	1,562,943	0			
(間接経費)						
間接経費	1,386,732	1,205,030	0			
総コスト	173,446,584	157,498,967	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
健診受診後の保健指導の応募率	21	実績	11	-	-	-	38
	%	達成率	28.9	0.0	0.0	0.0	
総合計画に関する市民意識調査における「健康づくりの推進」項目の満足度	51.4	実績	52.5	-	-	-	55
	%	達成率	95.5	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

平成30年度の総合計画に関する市民意識調査の結果によると、まちづくりに健康づくりの推進が重要だという回答が20.9%となっていて市民の健康に対する関心も高く、健康づくりの推進に対する満足度も微増となった。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	健康管理事業は取組の工夫により、健康相談室の相談実績の増加、健康応援事業における元気いっぱいサポーターの活動拡充などにつながっている。			
達成できていない点	健診受診後の保健指導は同じ対象者が毎年度該当する場合があります、受診率向上のためには継続して取り組む環境整備が求められている。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

健康手帳を検診受診時などに市民に配布して市民の検診受診習慣化を進めた。健康教育事業として、一般健康講座など実施。健康相談事業として、保健師等が相談を受ける保健相談室を実施。野菜の効率的な摂取や食育推進のための栄養改善事業を実施。健康増進事業として、健康増進室の利用者数延べ10,494人。自殺対策事業として、ゲートキーパー研修や教育委員会との共催研修会を実施。第2次健康ふちゅう21の推進のため、協議会の開催及び各種元気いっぱいサポート事業を実施した。元気いっぱいサポーターの活動を活発化させるために、養成講座の参加者が自主的に健康づくりに取り組めるような働きかけを始めた。自殺対策事業については、庁内の連携体制が整ってきており、自殺対策計画策定にも取りかかっている（H31.5月完成）。保健センターは、市民の健康の保持及び増進を図ることを目的に昭和52年に開設された。以来、健康づくり、健康診査及び相談・指導業務等を実施し、市民の健康の保持及び増進に寄与してきた。健康増進室の利用料金を手数料・使用料の見直しに関する基本方針により見直すとともに、古くなった照明設備のLED化を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

第2次健康ふちゅう21及び第2次食育推進計画に基づき、効果的かつライフステージに応じた市民の健康づくりを推進し、その取組が市民に広く浸透する取組を充実させることが必要である。自殺対策の充実に伴い、こころの健康や自殺防止に関するより個別的で多様な相談支援のニーズも高まっている。保健センター管理運営は、施設の老朽化に伴い、今後も修繕・工事が必要である。

今後の展開

元気いっぱいサポート事業の実施により、地域ぐるみで健康づくりを進めていく施策を検討し、市民との協働によって推進する。健康づくりに関する情報提供は、効率よく確実に提供できるように取組を工夫する。自殺対策は、自殺総合対策計画に基づき、関係機関との連携して地域の実情にあった普及啓発と相談支援を行っていく。保健センター管理運営は、市民が安心して相談・健診等が受けられるよう適切な施設管理を行っていく。また、健康増進室は、運用見直し（運動機器の一部撤去）によって確保したスペースを有効に活用し、体験型の健康教育事業の定員を拡大する他、母子保健事業を実施するなど、各種保健事業の充実を図る場として活用する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
健康管理支援事業	健康教育事業、健康相談事業、保健相談室、歯と口の健康相談、栄養相談、肝炎相談、健康増進事業、栄養改善事業、健康応援事業、元気いっぱいサポート事業	健康教育事業、健康相談事業、保健相談室、歯と口の健康相談、栄養相談、肝炎相談、健康増進事業、栄養改善事業、健康応援事業、元気いっぱいサポート事業	健康教育事業、健康相談事業、保健相談室、歯と口の健康相談、栄養相談、肝炎相談、健康増進事業、栄養改善事業、健康応援事業、元気いっぱいサポート事業	健康教育事業、健康相談事業、保健相談室、歯と口の健康相談、栄養相談、肝炎相談、健康増進事業、栄養改善事業、健康応援事業、元気いっぱいサポート事業
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	福祉保健部 健康推進課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)				
	89,153			
自殺対策事業	こころの健康に関する講演会開催、相談一覧作成等による各種相談先の周知、自殺対策関係者連絡会やゲートキーパー研修等支援者の啓発、教育関係者対象研修会や小中学校での「SOSの出し方に関する教育」の教育部門・保健部門の連携等、遺族者支援団体との連携等	こころの健康に関する講演会開催、相談一覧作成等による各種相談先の周知、自殺対策関係者連絡会やゲートキーパー研修等支援者の啓発、教育関係者対象研修会や小中学校での「SOSの出し方に関する教育」の教育部門・保健部門の連携等、遺族者支援団体との連携等	こころの健康に関する講演会開催、相談一覧作成等による各種相談先の周知、自殺対策関係者連絡会やゲートキーパー研修等支援者の啓発、教育関係者対象研修会や小中学校での「SOSの出し方に関する教育」の教育部門・保健部門の連携等、遺族者支援団体との連携等	こころの健康に関する講演会開催、相談一覧作成等による各種相談先の周知、自殺対策関係者連絡会やゲートキーパー研修等支援者の啓発、教育関係者対象研修会や小中学校での「SOSの出し方に関する教育」の教育部門・保健部門の連携等、遺族者支援団体との連携等
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	福祉保健部 健康推進課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,983			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	事業種別			
	4か年事業費計(単位:千円)			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 保健センター管理運営事業	30		39,811,000	40,163,712	40,036,000	府中市保健センターの管理・運営	B	1
2 健康管理支援事業	30		22,409,000	20,368,785	21,977,000	生涯にわたる心身の健康の維持・増進を図るため、健康づくりの意識を高めるための環境整備や啓発	B	1
3 自殺対策事業	30		564,000	412,265	1,057,000	自殺の実態把握、分析を行い、特性を踏まえた普及啓発や支援体制の整備などの自殺対策に取り組む	B	1
4 保健計画評価・推進事業	30		278,000	274,913	308,000	市民の生涯を通じた健康づくりを実現するために策定した保健計画を推進し、評価を行う。	B	1
5 食育推進計画評価・推進事業	30		0	0	0	市民が食に関する意識を高め、健全な生活を送ることを目標に食育推進計画を策定し評価・推進する	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			63,062,000	61,219,675	63,378,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	002	母子保健の充実				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 健康推進課
	基本施策	01	健康づくりの推進			
めざす姿	妊娠期からの継続的な支援により、安心して出産・育児に臨むことができます。出産後は、母子の保健指導や健康診査を通じて、母子ともに健康が保持増進されるとともに、母親が育児にいきいきと取り組み、乳幼児が心身ともに健やかに育つことを支援します。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	1,018,123,000	1,016,600,000	926,177,000			
国庫支出金	11,148,000	11,587,000	11,122,000			
都支出金	41,140,000	41,852,000	41,871,000			
市債	0	0	0			
その他	3,514,000	4,313,000	3,484,000			
一般財源	962,321,000	958,848,000	869,700,000			
予算現額	1,008,923,000	998,134,000	0			
決算額	956,648,789	933,098,408	0			
国庫支出金	6,576,000	8,346,121	0			
都支出金	39,063,500	39,710,060	0			
市債	0	0	0			
その他	3,226,442	2,080,738	0			
一般財源	907,782,847	882,961,489	0			
執行率	94.8	93.5	0.0			
(人件費)						
職員数	15.88	16.80	0.00			
職員人件費	122,011,827	132,015,979	0			
嘱託員数	3.00	2.00	0.00			
嘱託員人件費	9,361,200	6,251,772	0			
(間接経費)						
間接経費	2,189,458	1,826,989	0			
総コスト	1,090,211,274	1,073,193,148	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
乳幼児健診の受診率	96.1	実績	97.9	-	-	-	100
	%	達成率	97.9	0.0	0.0	0.0	
定期予防接種の接種率	92.9	実績	96.5	-	-	-	98
	%	達成率	98.5	0.0	0.0	0.0	
新生児訪問の実施率	88.8	実績	82.3	-	-	-	95
	%	達成率	86.6	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

事業の周知は、対象者への個別通知のほか、広報やホームページへの掲載、予防接種モバイルサービス、乳幼児健診の際の事業案内など、幅広く実施している他、予防接種の通知時には予防接種の啓発冊子等も送付している。これらの成果として、乳幼児健康診査の受診率及び予防接種率は高水準で推移しているものと捉えている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	各種健診、定期予防接種の平均接種率も高水準を維持。子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠届時に看護職が面接を実施することができた。発達健診には児童精神科医を配置し、発達支援の充実を図った。			
達成できていない点	引続き予防接種の安全管理に取り組む。特定妊婦の早期把握・支援に努め、新生児訪問の支援体制を充実させていくことが必要である。医療を含めた発達支援体制を地域に定着させていく必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

母子保健法、予防接種法に基づき年間計画にそって実施。乳幼児健診、予防接種は対象者へ個別通知等により周知を図り、高水準の受診率、接種率を維持している。

【平成30年度実績】○妊娠届出数1,927件○保育相談延べ3,944件○妊婦健康診査延べ23,281件○乳児健康診査1,988人（98.8%）○1歳6か月児健康診査2,149人（受診率98.1%）○3歳児健康診査2,255人（受診率96.7%）○親と子の歯みがき教室12回221人○幼児歯科健康診査96回3,524人○離乳食教室51回延べ1,376人○乳幼児定期予防接種：延べ接種者数54,493（接種率96.5%）人○養育医療47人

子育て世代包括支援センター機能により母子手帳発行時に看護職による全数面接を実施。必要時支援プランを作成し、妊娠期からの早期の支援をすることができた。また、パパママ学級等の事業参加人数が増加することにつながった。健診事業は疾病等の早期発見にとどまらず育児支援の場として機能した。予防接種事業では協力医療機関以外で予防接種を受けた者に対し償還払いを開始し、経済的負担の軽減を図った。

これらの取組によって、母子の健康管理及び安心して子育てができる環境の推進に寄与した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

子育て世代包括支援センターの設置に伴い、子ども家庭支援センターたっちとの連携体制を一層推進し、妊娠期からの切れ目ない支援を充実させていく。また、新生児訪問の充実も図る必要がある。引続き、医療機関を含む地域の発達支援体制を検討していく。

乳幼児健診など集団を対象とした事業を適切に実施していくとともに、育児支援など個別の支援体制の充実強化に継続的に取り組んでいくことが課題である。

今後の展開

各事業は事業の評価を行いながら通年実施で継続する。

予防接種は引き続き安全管理と接種漏れ防止に取り組んでいく。

子育て世代包括支援センターは組織改正により、子ども家庭支援センター「たっち」と母子保健係が一つの課として実施していく。新生児訪問は実施率の向上など支援体制を見直す。また、育児支援をさらに充実するため産後ケアなどサービスを導入していく。

発達支援と養育支援については、医療機関との連携方法について検討していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
母子健康づくり支援事業	○保育相談○親と子の歯みがき教室○母子保健相談○母子栄養強化食品○1歳6か月児健診○妊婦健康診査○乳児・産婦健康診査○3歳児健康診査○妊産婦・新生児訪問指導○補助金 里帰り等妊婦健康診査○予防歯科指導	○保育相談○親と子の歯みがき教室○母子保健相談○母子栄養強化食品○1歳6か月児健診○妊婦健康診査○乳児・産婦健康診査○3歳児健康診査○妊産婦・新生児訪問指導○補助金 里帰り等妊婦健康診査○予防歯科指導○新生児聴覚検査	○保育相談○親と子の歯みがき教室○母子保健相談○母子栄養強化食品○1歳6か月児健診○妊婦健康診査○乳児・産婦健康診査○3歳児健康診査○妊産婦・新生児訪問指導○補助金 里帰り等妊婦健康診査○予防歯科指導○新生児聴覚検査	○保育相談○親と子の歯みがき教室○母子保健相談○母子栄養強化食品○1歳6か月児健診○妊婦健康診査○乳児・産婦健康診査○3歳児健康診査○妊産婦・新生児訪問指導○補助金 里帰り等妊婦健康診査○予防歯科指導○新生児聴覚検査
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	福祉保健部 健康推進課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)	1,221,869			
乳幼児予防接種事業	予防接種法に基づき実施する ○定期予防接種 ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、三種混合、四種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ポリオ、水痘、子宮頸がん、B型肝炎○予防接種事故調査会(必要時開催)○里帰り 定期予防接種補助金	予防接種法に基づき実施する ○定期予防接種 ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、三種混合、四種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ポリオ、水痘、子宮頸がん、B型肝炎○予防接種事故調査会(必要時開催)○里帰り 定期予防接種補助金	予防接種法に基づき実施する ○定期予防接種 ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、三種混合、四種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ポリオ、水痘、子宮頸がん、B型肝炎○予防接種事故調査会(必要時開催)○里帰り 定期予防接種補助金	予防接種法に基づき実施する ○定期予防接種 ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、三種混合、四種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ポリオ、水痘、子宮頸がん、B型肝炎○予防接種事故調査会(必要時開催)○里帰り 定期予防接種補助金
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	福祉保健部 健康推進課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)	2,507,102			
利用者支援事業	○妊娠の届出時に看護職等が面接を行い、子育て家庭の個別ニーズを把握し情報提供及び相談支援を行う。 ○継続支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施する。	○妊娠の届出時に看護職等が面接を行い、子育て家庭の個別ニーズを把握し情報提供及び相談支援を行う。 ○継続支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施する。	○妊娠の届出時に看護職等が面接を行い、子育て家庭の個別ニーズを把握し情報提供及び相談支援を行う。 ○継続支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施する。	○妊娠の届出時に看護職等が面接を行い、子育て家庭の個別ニーズを把握し情報提供及び相談支援を行う。 ○継続支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	福祉保健部 健康推進課			
	事業種別			
4か年事業費計(単位:千円)	2,075			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 母子健康づくり支援事業	20		298,407,000	256,585,289	287,129,000	妊婦健康診査により妊娠期の健康管理を行い、乳幼児には適切な時期に健診を行い発育発達を支援す	B	1
2 妊産婦育児教室事業	30		2,545,000	2,473,899	2,682,000	妊婦等を対象にした母親学級、離乳食教室等の実施により妊娠出産育児、健全な乳幼児の発育を支援	B	1
3 養育医療給付事業	10		17,574,000	10,635,549	16,742,000	医師が入院の必要を認めた1歳未満の未熟児の医療費を世帯の所得に応じて助成する。	B	2
4 乳幼児予防接種事業	10		696,087,000	661,463,759	618,600,000	感染の恐れのある病気の発生及び、まん延を予防するため、各種予防接種を実施する	B	2
5 利用者支援事業	20		1,065,000	1,120,222	1,024,000	妊娠の届出をした妊婦に看護職等が面談を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行	B	1
6 乳幼児発達支援事業	30		922,000	819,690	0	育児に不安を感じている保護者や発達面で支援が必要とされた親子へグループ活動等を行う	B	1
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,016,600,000	933,098,408	926,177,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	003	疾病予防対策の充実				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 健康推進課
	基本施策	01	健康づくりの推進			
めざす姿	各種健（検）診事業を通して、生活習慣病やがんをはじめとした疾患などの早期発見の機会が提供され、結果に応じて医療機関への受診をはじめとした必要な健康指導が行われています。 また、健康管理に関する正しい知識や、健康についての認識を自覚し、充実した生活を行っています。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当初予算額	696,948,000	661,122,000	641,825,000			
国庫支出金	5,523,000	10,270,000	5,096,000			
都支出金	73,922,000	61,432,000	77,093,000			
市債	0	0	0			
その他	2,839,000	13,085,000	17,734,000			
一般財源	614,664,000	576,335,000	541,902,000			
予算現額	665,048,000	625,088,000	0			
決算額	639,958,643	605,229,349	0			
国庫支出金	4,568,000	4,395,000	0			
都支出金	60,903,199	68,192,927	0			
市債	0	0	0			
その他	2,700,800	19,392,823	0			
一般財源	571,786,644	513,248,599	0			
執行率	96.2	96.8	0.0			
（人件費）						
職員数	9.05	9.00	0.00			
職員人件費	69,500,408	70,722,846	0			
嘱託員数	0.50	0.50	0.00			
嘱託員人件費	1,560,200	1,562,943	0			
（間接経費）						
間接経費	1,106,992	923,209	0			
総コスト	712,126,243	678,438,347	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 （単位）		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
定期健診受診率	29.2	実績	29.2	-	-	-	30
	%	達成率	97.3	0.0	0.0	0.0	
がん検診受診率	13.2	実績	12.9	-	-	-	18.5
	%	達成率	69.7	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

定期健診受診率は横ばい、がん検診受診率はがんごとに異なるが、横ばいか微減で推移している。検診受診会場を増やすなど今後受診環境の整備を進める予定であり、受診率向上を目指していきたい。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	府中市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新興感染症に対する備蓄品の補充を行った。			
達成できていない点	各種健（検）診受診率は横ばいで、特にがん検診は前年度実績から下がったことから、検診受診の必要性啓発と受診環境整備を推進する。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>健康増進法に基づく指針に従って実施するがん検診（胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がん・肺がん）及び任意検診として喉頭がん・前立腺がん検診を実施。平成28年度から検診費用の一部有料化を開始した他、申込方法を改善し、複数がん検診の同日実施を開始した。平成30年度にがん検診検討会議を設置し、任意のがん検診の見直し、5つのがん検診（胃・子・乳・大・肺）の精度管理など検討を行っている。健康診査事業は、成人健康診査、若年層健康診査等を実施。歯科健康診査事業は、成人歯科健診を実施。一般健診は、受診率が増加し、健康づくりの入口である、早期発見の重要性が市民に浸透してきている。成人歯科健診は、結果の総合判定で健康と判定される数が増加しており、市民の口腔の健康が向上してきている。</p> <p>感染症予防事業については、感染症の発生・拡大に備え「府中市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、新型インフルエンザ等対策に係る備蓄品の補充を実施した。</p> <p>狂犬病予防事業は、狂犬病予防法に基づき適切な飼い犬の登録等を実施するほか、狂犬病予防注射の実施に係る啓発を行った。昭和52年保健センター開設以来、狂犬病の発生件数は0件である。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>受診率向上のための受診勧奨としては直接通知をすることが効果的であることから、特定の年齢に受診券を送付しているが、送付内容や委託医療機関などを検討して受診率向上を図る必要がある。</p> <p>感染症予防では、新型インフルエンザ等対策のうち、行動計画書の見直しをするとともに全住民を対象とした臨時接種に関する取組みを更に進める必要がある。</p> <p>狂犬病予防注射は、かかりつけ獣医で個別注射を行う飼い主が増加している。</p>
今後の展開
<p>東京都から、指針に基づく検診の実施が求められており、がん検診の手法や受診率向上の取組を検討する場としてがん検診検討会議を開催。聴取した意見を参考にして、対策型の胃内視鏡検診導入、任意のがん検診の廃止の方向に向けた検討を進める。</p> <p>新型インフルエンザ等対策については、住民接種実施時に必要となる資機材の整備計画を進めていく。</p> <p>狂犬病予防注射については、現在集合注射方式で実施しているが、利用者が年々減少しているため、集合注射方式の見直しを行う必要がある。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
健康診査事業	1 成人健診、若年層健診は、基本健診及び医師の指示による詳細健診、追加健診を実施。特定健診、後期高齢者医療健診は、詳細健診の受診者以外に追加健診を実施。 2 各受診者の結果に応じて保健指導を実施。 3 人間ドック受診料助成			
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
福祉保健部 健康推進課	健診受診率は横ばいもしくは微増しており順調に進捗している。保健指導は申込率が伸び悩んでおり、対策が必要である。			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,625,028			
各種疾病検診事業	肝炎ウイルス検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、喉頭がん検診、前立腺がん検診（子宮頸、乳、大腸がん検診は特定の年齢に受診勧奨実施）	肝炎ウイルス検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、喉頭がん検診、前立腺がん検診（子宮頸、乳、大腸がん検診は特定の年齢に受診勧奨実施）	肝炎ウイルス検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診（子宮頸、乳、大腸がん検診は特定の年齢に受診勧奨実施）	肝炎ウイルス検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診（子宮頸、乳、大腸がん検診は特定の年齢に受診勧奨実施）
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
福祉保健部 健康推進課	受診率は前年度比横ばいではあるが、今後受診環境の整備を進めて受診率向上を目指す。			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	721,964			
歯科検診事業	歯科健診及び歯科医師等による歯科保健指導の実施、歯と口の健康週間普及啓発事業として歯と口の健康週間に合わせた実施（資料配布、相談受付等）	歯科健診及び歯科医師等による歯科保健指導の実施、歯と口の健康週間普及啓発事業として歯と口の健康週間に合わせた実施（資料配布、相談受付等）	歯科健診及び歯科医師等による歯科保健指導の実施、歯と口の健康週間普及啓発事業として歯と口の健康週間に合わせた実施（資料配布、相談受付等）	歯科健診及び歯科医師等による歯科保健指導の実施、歯と口の健康週間普及啓発事業として歯と口の健康週間に合わせた実施（資料配布、相談受付等）
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
福祉保健部 健康推進課	歯科健診受診者数は徐々に減少しているが、受診者に占める総合判定「健康」の割合は増加しており（H28除く）市民の口腔の健康度は上昇していると判断できる。			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	438,088			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 感染症予防事業	20		4,790,000	9,920,937	16,152,000	感染症発生時の患者宅等の消毒。 新型インフルエンザ等に係る対策 の実施。	B	2
2 狂犬病予防事業	10		2,855,000	2,740,248	2,803,000	飼い犬の登録事務及び狂犬病予防 注射の実施	B	1
3 健康診査事業	20		372,543,000	341,910,032	346,830,000	生活習慣病予防などのため成人健康 診査、若年層健康診査、健診後 保健指導、人間ドック助成を実施	B	1
4 各種疾病検診事業	10		176,636,000	160,403,920	177,222,000	肝炎ウイルス検診、胃がん・子宮 頸がん・乳がん・大腸がん・肺が ん・前立腺がん・喉頭がん検診の	B	3
5 歯科健診事業	20		104,298,000	90,254,212	98,818,000	成人歯科健康診査を実施し、歯と 口腔の機能の保持に努め、歯の喪 失の防止を図る	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			661,122,000	605,229,349	641,825,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	004	地域医療体制の整備				
総合計画	基本目標	人と人との支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 健康推進課
	基本施策	01	健康づくりの推進			
めざす姿	市民は、「かかりつけ医」を持つとともに、休日・夜間や災害発生時などにおいても適切な医療サービスを受けることができる環境が整っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	84,963,000	86,316,000	88,926,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	11,520,000	11,625,000	11,467,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	73,443,000	74,691,000	77,459,000			
予算現額	84,963,000	86,316,000	0			
決算額	84,614,246	85,612,450	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	11,420,000	11,304,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	73,194,246	74,308,450	0			
執行率	99.6	99.2	0.0			
(人件費)						
職員数	1.61	2.30	0.00			
職員人件費	12,355,628	18,073,616	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	186,492	223,512	0			
総コスト	97,156,366	103,909,578	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
安心して医療を受けることができると感じている市民の割合	42.7	実績	77.6	-	-	-	85
	%	達成率	91.3	0.0	0.0	0.0	
保健センターでの休日・夜間診療の実施体制	100	実績	100	-	-	-	100
	%	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

安心して医療を受けることができると感じている市民の割合は77%となっている。目標値である85%に向けて、GW・年末年始等、医療機関が長期休業となる時期に、受診可能医療機関の情報を適宜提供することを継続する必要がある。
休日・夜間診療の実施体制については、計画どおり実施できている。

4 施策の進捗状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している			
達成できている点	休日・夜間における、適切な医療サービスを提供する環境は整備されている。 三師会、医療機関と協議をし、緊急医療救護所開設運営マニュアルを作成した。			
達成できていない点	歯科医療連携事業におけるかかりつけ歯科医紹介事業は、紹介後の訪問歯科診療実績は増加しているが、新規申込み件数は減少しているためさらに周知を進める。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
平成30年度は、夜間診療（医科）365日・4,023人、休日診療（医科）73日・5,540人、休日診療（歯科）73日・270人の利用者があった。 三師会、医療機関と協議をし、緊急医療救護所開設運営マニュアルを作成した。 歯科医療連携推進事業では、障害者・在宅要介護者等の方で、通院などで歯科治療を受けることが困難な方を対象に、「かかりつけ歯科医」を紹介する事業を実施。そのほか、摂食・嚥下機能支援相談の受付や関係機関向け研修会を実施した。歯科医療連携事業は、平成25年度から摂食・嚥下機能支援相談の仕組みを開始し、「ごっくんパス」という、歯科医療のみならず、医科、介護等の多様な主体が支援するツールの浸透に努めている。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
休日・夜間の診療時間延長を望む声もあるが、医師の確保が課題となる。休日歯科診療等で使用する歯科ユニットの交換が必要となっている。
今後の展開
市民が安心して医療を受けられるよう、現行の事業を維持するとともに、歯科ユニットの整備を行い安全・安心な医科・歯科医療の提供につなげる。 摂食・嚥下機能支援事業として、ごっくんパスの周知をさらに進めていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
休日・夜間診療事業	初期救急医療提供体制を整備。 保健センターにおいて、夜間診療（医科）、休日診療（医科・歯科）を実施する。	初期救急医療提供体制を整備。 保健センターにおいて、夜間診療（医科）、休日診療（医科・歯科）を実施する。	初期救急医療提供体制を整備。 保健センターにおいて、夜間診療（医科）、休日診療（医科・歯科）を実施する。	初期救急医療提供体制を整備。 保健センターにおいて、夜間診療（医科）、休日診療（医科・歯科）を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
福祉保健部 健康推進課	保健センターにおいて、夜間診療（医科）、休日診療（医科・歯科）を実施する。			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
327,266				
災害時医療体制等整備事業	三師会、医療機関との協議 緊急医療救護所体制の整備 地区防災計画への反映	三師会、医療機関との協議 災害時医療体制を整備 地区防災計画への反映	三師会、医療機関との協議 災害時医療体制を整備	三師会、医療機関との協議 災害時医療体制を整備
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
福祉保健部 健康推進課	三師会、医療機関と協議をし、緊急医療救護所開設運営マニュアルを作成した。			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 休日・夜間診療事業	30		81,775,000	81,724,790	84,599,000	休日・夜間など多くの医療機関が 休診となる時期に応急診療を行う	B	1
2 歯科医療連携推進事業	30		3,911,000	3,887,660	3,927,000	障害者、在宅要介護者等、自身で 歯科治療を受けることが困難な人 にかかりつけ歯科医を紹介する	B	1
3 骨髄移植ドナー支援事業	30		630,000	0	400,000	骨髄・末梢血幹細胞を提供した市民 と従事する事業所等に対する助成	B	3
4 災害時医療体制等整備事業	30		0	0	0	災害発生時に適切な医療サービスの 提供ができるよう体制を整備する	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			86,316,000	85,612,450	88,926,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	005	保養機会の提供				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			担当部署名	生活環境部 住宅勤務課
	基本施策	01	健康づくりの推進			
めざす姿	魅力ある市民保養所の運営に努め、市民に保養の場を提供することにより、心身のリフレッシュや健康増進が図られています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	60,205,000	58,991,000	57,143,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	200,000	0			
一般財源	60,205,000	58,791,000	57,143,000			
予算現額	60,205,000	58,991,000	0			
決算額	58,913,575	57,950,575	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	200,000	0			
一般財源	58,913,575	57,750,575	0			
執行率	97.9	98.2	0.0			
(人件費)						
職員数	0.40	0.40	0.00			
職員人件費	3,072,650	3,143,238	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	68,016	113,327	0			
総コスト	62,054,241	61,207,140	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
保養所の利用率	34.5	実績	32.2	-	-	-	43.8
	%	達成率	73.5	0.0	0.0	0.0	
保養所の稼働率	41.2	実績	41.2	-	-	-	46.5
	%	達成率	88.6	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

平成30年度については利用者が減少した。平成26年度は大規模修繕があり、営業休止期間があった。団体利用が減少する一方で少人数の利用が微増しているため、利用率は減少しているが、部屋の稼働率は40%台を維持している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	利用者の意見を取り入れるなど安定的で質の高いサービスを提供し、利用の拡大を図った。施設案内PR動画を作成し、周知を図った。 効率的・効果的な施設管理を行った。			
達成できていない点	より効果的なPRを工夫するとともに、利用者の心身のリフレッシュや健康増進を図るための事業を充実させる必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・市民保養所やちほへ平成20年4月から指定管理者制度を導入し、保養所に民間業者のノウハウを取り入れ魅力のある保養所の管理・運営を行った。(平成30年4月から3期目) ・指定管理者制度の導入により、経費の削減とサービスの向上に効果があった。 ・指定管理者制度の導入に伴って、市内在勤者及び市外の方の利用料金の引き下げを行った。 ・予約申込みの方法については、予約専用フリーダイヤルやインターネットにより、容易に予約ができるようになった。 ・姉妹都市・佐久穂町の魅力と保養施設の特長を広く分かりやすく情報発信するため、インターネットやスマートフォンなどで視聴できる施設案内PR動画を作成した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>利用者数が伸び悩んでいるため、地域の特性を活かした自主事業の実施や積極的なPR活動を展開することで利用者の拡大を図っていく必要がある。</p> <p>市民保養所開設後30年以上が経過しているため、平成26年度には大規模修繕を行ったものの、大規模な施設の改修や設備の交換が必要となっている。第2次府中市公共施設マネジメント推進プランにおけるモデル事業「宿泊機能・サービスの今後の在り方」として、将来的な管理運営方法を検討している。</p>
今後の展開
<p>市民の心身のリフレッシュや健康増進を図る魅力ある市民保養所として、安定的かつ質の高いサービスが提供されるよう指定管理者に対して指導していく。市民の意見・要望を柔軟に取り入れたサービスの向上や姉妹都市である佐久穂町との連携・協働による事業展開、新規利用者を増やすよう効果的な広報活動を行う。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
やちほ管理運営事業	○市民保養所を指定管理者により管理運営 ○施設運営のさらなる効率化を図り、利用者の増加に向けた取組を行う。 ○公共施設マネジメント推進プランモデル事業として、今後の宿泊機能・サービスの在り方を検討。	○市民保養所を指定管理者により管理運営 ○施設運営のさらなる効率化を図り、利用者の増加に向けた取組を行う。 ○今後の宿泊機能・サービスの在り方に関する方針の決定。	○市民保養所を指定管理者により管理運営 ○施設運営のさらなる効率化を図り、利用者の増加に向けた取組を行う。 ○方針に基づく取組の実施。	○市民保養所を指定管理者により管理運営 ○施設運営のさらなる効率化を図り、利用者の増加に向けた取組を行う。 ○方針に基づく取組の実施。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 住宅勤労課	市民の心身のリフレッシュや健康増進を図る市民保養所としての役割を果たすため、利用者の意見・要望を柔軟に取入れた。指定管理者制度により、多様化する利用者のニーズに、より効果的、効率的に対応した施設運営を行った。施設案内PR動画を作成し、新規利用者の増加に努めた。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
222,928	-----			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 やちほ管理運営事業	30		58,991,000	57,950,575	57,143,000	市民保養所の管理及び運営	B	3
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			58,991,000	57,950,575	57,143,000			